1.73, 2.32 keV あたりにきれいな輝線がみられ、0.8-1.1 keV あたりは輝線の森のようです。
「今日の出来事」
少しは KSC 運用というものにも慣れ、様々な困難も克服したと思えた頃であった。「天災は忘れたことにやってくる」。1 pass 目、いつものように「入感チェック」を行なう。「BDR」という問いに……、あれっ？ mode は REP のままになっている。しかし、KSC で運用をやったことがある人は御存じと思うが、入感直後の elevation が低い時には、しばしば適当でない status を表示するものである。まぁ、そのうち正しい表示をするであろう。そのうち、「じゃ、REP. 送信します」の声。数秒後、「ロックしないね」の声。これまた、KSC で運用をやったことがある人は御存じと思うが、たいていの場合、「◯◯のパワーを上げて」という声の数秒後には「ロックしました」という声があがるものである。ところが今回は違った。十秒程後であろうか、「REP. 来てないよ」の声。NEC の人が受信卓の後ろの復調器のボタンを叩いている。「どうした」、ちょっと焦りの色。さっきの BDR の mode は確かに変だ。「BDR STOP 打ってもらえますか？」。データのたれ流しがあってはと思ってそう言ったのだが、……。「あれっ、BDR STOP も効かない」の声。そのとき、はっきり「これは……。」、そう思った。もう一度、BDR STOP を打ったが、やっぱり効いていない。対処の施しようがないことが判明。それで、以下通常のコマンドを打って、その間様子をみることにする。BDR 以外のコマンドは確かに効いている。「BDR がおかしい」。このまま、衛星を離しても、衛星自体に悪影響を与えることはないであろうことを確認して、そのまま時が過ぎゆくのを待つばかりであった。受信終了。NEC の人から状況を説明してもらい、宇宙研に即電話。それからの時間は DL で状況を確認したり、宇宙研側と電話で離したり、……。結局、2 pass 目の頭でに BDR OFF を打ち、確認後しばらく間をとってから BDR ON を打つ。BDR の mode が正常に戻った！ REP. を打つ。データが降りてくる！受信終了後、宇宙研から hot line で「長坪観音にでも行って、身を潔めてくるように」という指示が伝えられる。
（追伸）そんな洒落を一部の人に言ったところ、「じゃ、行きましょうか」の返事。「えっ？」。焼酎とツマミと塩と「ASTRO-D 安全祈願」と書かれた紙をもって、行った。ほんとうに行った。長坪観音を見つけられずに行き過ぎてしまったりしたが、その後、ものごとが「あるべき姿」で運んでいるようである。やっぱり、「身を潔めた」のが正解であったのであろうか。（帰りにはヒエイザンにでもいって、もっと身を潔めて来るべきか、ちょっと本気で悩んでいる、青木）
2PASS 目の REPRO のデータは GISPLOT を見る限り、正常ではないように思えます。1PASS 目に続き….。ふぅ..。（鎌土）
騒ぎが収まった後に到着、とりあえず名前を辞書に登録してもらった。（廿日出）

「あすか」 OPERATION REPORT Ver.1.5

93 年 8 月 18 日　Y+ 180　KSC 当番: 青木、廿日出 、 鎌土

MSH15-52/SN1006/Rho Oph

	PASS 1	PASS 2	PASS 3	PASS 4	PASS 5
Pass No.	930819–0515	930819–0618	930819–0721	930819–0825	930819–0928
Operation	X-REP BDR-STOP OP-OG-WRT SCT-WRT SCT-CHK OBS-MOD OP-STRT	BDR-OFF BDR-ON X-REP RNG SCT-WRT SCT-CHK OBS-MODE	X-REP HAM-ERR-RST BDR-STOP X-REP BDR-STOP	X-REP RNG	X-REP HAM-ERR-RST
Target	MSH15-52	SN1006	SN1006	SN1006	SN1006
AOS(UT)	07:05:21	08:46:53	10:28:42	12:10:27	13:52:41
LOS(UT)	07:17:51	08:59:42	10:41:14	12:22:52	14:03:05
Max-El	31.695	77.223	Zenith	43.468	13.854
Time	07:11:12	08:52:39	—	12:15:56	13:57:14
Rep-band(stat.)	X (Failed)	X (Completed?)	X (Completed)	X (Completed)	X (Completed)
Rep-start	07:06:44	08:48:34	10:29:32/10:35:10	12:11:04	13:53:34
DP-mode	OBS/ACS/OBS	OBS/ACS/OBS	OBS	OBS	OBS
ACS-mode	Normal–Pointing	Normal–Pointing	Normal-Pointing	Normal–Pointing	Normal–Pointing
ACS-spn/θ_s	16.59°	0.84°	0.90°	0.98°	—°
Attitude	$\begin{bmatrix} 229.100 \\ 148.936 \\ 180.746 \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 226.076 \\ 131.880 \\ 162.171 \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 226.077 \\ 131.881 \\ 162.171 \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 226.076 \\ 131.881 \\ 162.170 \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} 226.076 \\ 131.881 \\ 162.170 \end{bmatrix}$
OP-start(CE)	07:14:46 (00h)	Cont (10h)	Cont (1Bh)	Cont (25h)	Cont (2Fh)
SIS-mode	Faint/Faint 4CCD	Faint/Faint 4CCD	Faint/Faint 4CCD	Faint/Faint 4CCD	Faint/Faint 4CCD
S0/1-TECT	−35.51/−35.54	−34.93/−34.96	−34.78/−34.81	−34.78/−34.76	−34.83/−34.86
S0/1-CCDT	−61.67/−61.48	−61.67/−61.67	−61.67/−61.62	−61.67/−61.62	−61.62/−61.62
GIS-mode	PH	PH	PH	PH	PH
GIS LD Hit	27cps/25cps	28cps/28cps	31cps/31cps	31cps/31cps	28cps/26cps

P	X	Y	R	S	Pos	MErr	HV_HL	Gain	RT-L	RT-U	Temp	RBMT	CalPk	RT Pk	CalCnt/time
8	8	8	0	0	FLF	–	3/4	48	159	218	14.2	14.1	405.28	183.77	850
Pass: S9308190721							3/4	40	159	218	8.7		421.50	181.27	762

GIS Mode Changes: 8-8-8-0-0(MSF15-52)/10-8-8-5-0(SN1006)

Condition Condition (min/max)

BAT_V–A	BAT_V–B	BAT_I–A	BAT_I–B	BAT_T–A	BAT_T–B	Charge/Discharge
20.10/23.40	20.10/23.50	−4.25/4.75	−4.38/4.78	4.82/8.74	4.82/8.46	no good data

Manoeuvre Operation

Start Time	Target Name	#	(α, δ)	(ϕ, θ, ψ)
08/19 08:35	SN1006	4	(225.700 , -41.930)	(226.076 , 131.882 , 162.173)
08/20 02:15	Rho-Oph	5	(246.690 , -24.480)	(246.985 , 114.386 , 171.617)
			(,)	(, ,)

Comment: 本日の運用: We have observed SNR MSH15-52 & SN1006 today. The counting rates for SIS and GIS are ∼3 count/sec and ∼2 count/sec, respectively. Some small part of the data of MSH15-52 was lost because of mechanical trouble of BDR, however we had recovered the trouble.
SN1006 は GIS の視野中心に座しており、直径約 35 分の shell がくっきりはっきり見えました。SIS ではその内部を見ているようで、輪っかはよく見えませんでした。エネルギースペクトルは先日の RCW103 と似ており、 1.28,